

吉野弘『虹の足』テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 この詩の作者を漢字で書きなさい。

問2 この詩の形式を漢字5文字で答えなさい。

問3 「乾麺みたいに真直な 陽射しが」という部分に使われている表現技法として、最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：倒置法
- イ：擬人法
- ウ：直喩
- エ：体言止め

問4 「山路を登るバスの中で見たのだ、虹の足を。」という部分は、本来の言葉の順番を逆にして、あとに続く言葉を強調しています。この表現上の工夫を何といいますか。漢字3字で答えなさい。

問5 「虹がそっと足を下ろした」や「すっぱり抱かれて」という部分では、人間以外のものを人間のように表現しています。この表現技法を漢字3字で答えなさい。

問6 「そっと」「すらりと」「すくくと」「すっぱり」など、物事の状態や様子を表す言葉を何といいますか。漢字3字で答えなさい。

問7 「家から飛び出して虹の足にさわろうとする人影は見えない」とありますが、村の人々が家から飛び出してこなかったのはなぜですか。詩の内容から推測できる理由を簡潔に書きなさい。



問8 「乗客たちは頬を火照らせ 野面に立った虹の足に見とれた」とありますが、乗客たちはどのような気持ちで「虹の足」を見ていたと考えられますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：後悔
- イ：不安
- ウ：恐れ
- エ：感動

問9 この詩の後半では、バスの乗客（他人）と、村の人々（自分）の「見え方」の違いが描かれています。このような、2つのものの違いを際立たせるための表現上の工夫を漢字2字で答えなさい。

問10 この詩の後半で、「虹の足」はどのようなものの象徴（シンボル）として描かれていますか。詩の中から漢字2字で抜き出さなさい。

問11 この詩全体を通して、作者が最も伝えたいこと（主題）としてふさわしいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：虹はすぐに消えてしまうので、見つけたらすぐにみんなに知らせるべきだということ。
- イ：人は、他人には見えて自分には見えない幸福（日常の当たり前の幸せ）の中で生きているということ。
- ウ：村の人々は自然の美しさに無関心なので、もっと風景を楽しむべきだということ。
- エ：他人の幸福を羨むのではなく、自分自身の力で新しい幸福を掴み取らなければならないということ。



吉野弘『虹の足』テスト対策練習問題と過去問まとめ (解答)

問1 吉野弘

【解説】中学3年で学習する「生命は」の作者でもあるよ。漢字で正確に書けるようにしておこう。

問2 口語自由詩

【解説】現代の話し言葉（口語）で書かれ、文字数に厳密な決まりがない（自由詩）形式だよ。

問3 ウ

【解説】「～みたいに」という言葉を直接使って、まっすぐな太陽の光を乾麺（うどんや素麺）に例えているね。

問4 倒置法

【解説】本来なら「～バスの中で、虹の足を見たのだ。」となる語順を逆にし、
「ついに見たぞ！」という作者の感動を読者に印象づけているよ。

問5 擬人法

【解説】虹を人間（生き物）のように見立てることで、優しくて温かい存在として印象づけているんだね。

問6 擬態語（またはオノマトペ）

【解説】これらの言葉のおかげで、虹の足の不思議で生き生きとした情景が頭の中に浮かんでくるね。

問7 (例) 村の人々には、自分たちのいる場所にある虹が見えていないから。

【解説】作者は「多分、あれはバスの中の僕らには見えて、村の人々には見えないのだ」と想像しているよ。



問8 エ

【解説】「頬を火照らせ（顔を熱っぽく赤くして）」という表現から、偶然出会った美しい光景に対する深い感動や興奮が伝わってくるね。

問9 対比

【解説】「遠くから見ている他人には見えていて、虹の中にいる本人には見えていない」という対比の構造が、この詩の読解の重要なポイントだよ。

問10 幸福

【解説】テストでとてもよく出る問題だよ。「自分には見えない幸福」の象徴として、虹が使われているんだね。

問11 イ

【解説】「格別驚きもせず幸福に生きている」とあるように、私たちは気づかぬうちに幸福（虹）の中に包まれて生きているんだよ、という温かいメッセージが込められているんだ。

